

## 薬科学科

### ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

薬科学科は、次に掲げる資質・能力を醸成し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士（薬科学）の学位を授与します。

- 人々の生活を支援する研究者・技術者としての強い自覚をもち、広い教養と豊かな人間性を備え、社会で活躍する能力
- 研究者・技術者として深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力
- 研究者・技術者として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、研究力を有し、高度な科学技術に貢献できる能力
- 薬科学の基礎知識を基盤として、化粧品・香粧品学、食品・栄養学の素養を有し、関連する広範な分野で主体的かつ協働的に貢献できる研究者・技術者になる能力
- 薬科学の基礎知識を基盤として、さらに高い専門性を有する薬科学を学び研究力を発展させることができる能力

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

薬科学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力の醸成のため、「基本科目」、「関連科目」、「専門科目」を配置し、体系的なカリキュラムを編成しています。学習成果の評価は、評価基準に基づいて厳格に行い、グレードポイントアベレージ（GPA）を含め、学生自身にフィードバックします。

- 人々の生活を支援する研究者・技術者としての強い自覚をもち、広い教養と豊かな人間性を備え、社会で活躍する能力を修得するために、「基本科目」、「関連科目」、「専門科目」の総合薬科学分野Ⅰと基礎薬科学分野の科目を配置しています。
- 研究者・技術者として深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力を修得するために、「基本科目」、「関連科目」、「専門科目」の基礎薬科学分野、生理・治療分野の科目を配置しています。
- 研究者・技術者として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、研究力を有し、高度な科学技術に貢献できる能力を修得するために、「専門科目」の生理・治療分野、医療薬科学分野、総合薬科学分野Ⅱの科目を配置しています。
- 薬科学の基礎知識を基盤として、化粧品・香粧品学、食品・栄養学の素養を有し、関連する広範な分野で主体的かつ協働的に貢献できる研究者・技術者になる能力を修得するために、「専門科目」の生理治療分野、医療薬科学分野、総合薬科学分野Ⅱの科目を配置しています。

- 薬科学の基礎知識を基盤としてさらに高い専門性を有する薬科学を学び研究力を発展させることができる能力を修得するために、「専門科目」の生理治療分野、医療薬科学分野、総合薬科学分野Ⅱの科目を配置しています。
- ディプロマ・ポリシーのすべての要素を達成するための最終段階として、卒業研究を配置しています。

### アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

薬科学科では、城西大学の建学の精神と薬科学科の教育研究上の目的を理解するとともに、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力の修得を目指す以下のような人の入学を期待します。

- 医薬品関連、機能性食品、化粧品や機能性化粧品などの研究者または開発者になる意欲のある人。
- 生命科学関連の研究者になる意欲のある人。
- 国際感覚をもった薬科学研究者・技術者になる意欲のある人。
- 人々の健康と安心・安全に寄与して働く意欲のある人。
- 薬学・薬科学教育に対応できる十分な基礎学力をもつ人。
- 自ら積極的に学ぶ主体性をもつ人。
- 論理的・科学的な思考に基づいて物事の課題や問題点を捉え、解決するために努力する人。
- 基本的なコミュニケーション力・プレゼンテーション力をもつ人。

高等学校での履修が望ましい教科・科目： 英語、国語、数学、化学、生物、物理

入学者の受け入れは、以下の点に留意して実施します。

- 薬科学科の教育研究上の目的に相応しい人材を多面的に評価・審査します。
- 薬科学を学ぶ上で必要な教科（英語、国語、数学、理科）の理解度を評価・審査します。
- 筆記試験では測ることができない能力や意欲は、高校在学時あるいはこれまでの活動状況から評価・審査します。

（2022年4月入学者用）